

<最終チェック日>

- 1年前期終了後 3年前期終了後
- 1年後期終了後 3年後期終了後
- 2年前期終了後 4年前期終了後
- 2年後期終了後 4年後期終了後

機械工学類 機械システムコース カリキュラムツリー

学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

平成 _____ 年度入学 名 列 番 号 : _____

氏 名 : _____

学習・教育目標	授業科目名								必修 <input type="checkbox"/>		選択 <input type="checkbox"/>	
	1年		2年		3年		4年					
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
(3) 課題探求・実践学習を通じた自主性、創造性、協調性、発表・報告能力および国際的コミュニケーション能力	初學者ゼミ ◎ []				1. 機械工学実験Ⅰ ◎ []	5. 機械工学実験Ⅱ ◎ []	8. 卒業研究 ◎ []			1	6	2
						6. 機械機能探求 ◎ []			3	8	7	
	総合・テーマ別科目 ○ []				2. 子外技術体験実習 A, B ○ []	7. 企業開放講義 ○ []	9. 機械工学特別講義 ○ []		4	10	9	
	言語科目 ◎ []				3. 機械技術英語 ◎ []		10. 機械工学輪講 ◎ []		5			
					4. 技術英語演習 ○ []							
(4) 機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使う能力		1. 物理学実験 ◎ []			6. 機械工学実験Ⅰ ◎ []	9. 機械工学実験Ⅱ ◎ []			1	6	5	
					7. 機械工作実習 ◎ []			2	7	10		
			3. 機械機能発見 ◎ []		4. 機械工学設計製図 基礎 ◎ []	8. 機械工学設計製図 ◎ []			3	8		
	情報処理基礎 ◎ []	2. 情報処理演習 ◎ []			5. 計算機プログラミング演習 ○ []	10. 計算機概論 ○ []			4	9		
(5) 技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養	初學者ゼミ ◎ []		1. 技術発展史 ○ []	3. 技術と倫理 ◎ []				2		1	6	
			2. 環境学 ◎ []	4. 物質循環工学 ○ []	5. 環境計測学 ○ []	6. エコマテリアル ○ []	7. 環境経済学 ○ []	3		4	7	
											5	
(A1) 数学および物理学の基礎と応用に重点を置いた、機械の高度化、知能化、ナノテク化に貢献する能力		1. 機械解析入門 ◎ []		3. 数値解析 ○ []	6. 固体物理学 ○ []	8. 確率・統計解析 ◎ []		8		1	5	
				4. 応用数理解析 ○ []						2	6	
			2. 材料工学 ○ []	5. 機械材料学Ⅰ ○ []	7. 機械材料学Ⅱ ○ []	9. マイクロ・ナノメカニクス ○ []				3	7	
						10. トライボロジー ○ []					4	9
												10
(A2) 新たな機械システムの構築を提案できる能力			1. 機械機能発見 ◎ []	2. 機械工学設計製図 基礎 ◎ []	4. 機械設計学 ○ []	7. 機械解析工学 ○ []	10. 機構運動学 ○ []	1		3	11	
				3. 計算機プログラミング演習 ○ []	5. 機械工学設計製図 ◎ []	8. 機械機能探求 ◎ []	11. 工学戦略論 ○ []	2		4	14	
							12. 卒業研究 ◎ []	5		6		
							13. 機械工学輪講 ◎ []	8		7		
					0. 子外技術体験実習 A, B ○ []	9. 企業開放講義 ○ []	14. 機械工学特別講義 ○ []	12		9		
							13		10			

◎:主体的に関与, ○:付随的に関与

修得した科目の[]にチェックを入れ、修得した科目番号を右欄にマークすること。